

## 2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月12日

上場会社名 フェスタリアホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2736 URL https://www.festaria.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞松 隆弥  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 姉川 清司 (TEL) 03-6633-6869  
四半期報告書提出予定日 2024年7月16日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期第3四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	6,694	4.9	122	37.7	108	87.1	68	117.5
2023年8月期第3四半期	6,378	△1.7	89	△72.2	57	△83.1	31	△85.8

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 73百万円(△13.5%) 2023年8月期第3四半期 85百万円(△69.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年8月期第3四半期	57	62	55	03
2023年8月期第3四半期	26	59	25	32

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2024年8月期第3四半期	7,163		1,463		19.9	
2023年8月期	6,718		1,408		20.4	

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 1,425百万円 2023年8月期 1,370百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
2023年8月期	円	銭	円	銭	円	銭
2024年8月期	—	0.00	—	20.00	20.00	—
2024年8月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,000	3.9	300	55.2	240	50.1	130	124.9	110	19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期3Q	1,208,600株	2023年8月期	1,208,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	23,083株	2023年8月期	25,983株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期3Q	1,183,761株	2023年8月期3Q	1,179,018株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年9月1日～2024年5月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかながら回復基調で推移しております。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高騰、金融資本市場の変動等の影響に加え、世界的な金融引締め等が続く中、地政学的緊張の長期化、中国経済の停滞等、海外景気の下振れによる景気の下押しリスクが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する宝飾業界は、インバウンド需要の回復、賃上げや株高を背景に高額品が堅調であった一方で、消費の二極化や物価上昇に伴う節約志向の高まりに加え、原材料費の高騰や人材不足等への対応により全般的にコスト負担が増加傾向となるなど、総じて厳しい事業環境となりました。

このような環境のもと、当社グループは、引き続き「強みの進化」と「ビジネスモデルの再構築」を中期の基本方針に掲げ、人的資本経営の実践を基軸に当社の強みを進化させることで付加価値の高い商品やサービスを継続的に創出し、持続的な成長を可能とする経営基盤の確立を目指しております。

主な取り組みとして、労働人口の減少に伴う人材獲得競争の激化や人材流動性の加速を受け、採用活動の強化や既存社員の待遇改善等、将来的な成長に向けた積極的な人財投資の推進に努めました。また、進行する消費の二極化を踏まえ、低価格帯及び高価格帯を中心に商品ラインナップの充実を図るとともに、ブランドや業態特性に応じたMD (Merchandising) やVMD (Visual Merchandising) の見直し・仕組み化を進めました。低価格帯商品の拡充においては、地金価格の高騰や競争環境の激化を踏まえ、新素材商品の開発・投入を進め、差別化を打ち出す取り組みに注力しました。高価格帯商品への対応においては、主力商品である“Wish upon a star”のプレステージラインを中心に品揃えを強化したことに加え、富裕層をターゲットとしたプロモーションイベントやポップアップストアの開催、百貨店外商やプライベートバンクとの連携など、新たな客層へのアプローチを図りました。

成長投資の一環であるDX (Digital Transformation) 推進については、攻めのDXとして主にブライダルジュエリーを中心にジュエリーの3Dデジタルカスタマイズシステムを本格展開したほか、OMO (Online Merges with Offline) 戦略をサポートするCRM (Customer Relationship Management) システム「festaria Members Club」を全国の店舗に導入し、会員登録の促進を実施しました。さらに、販売スタッフが自らジュエリーを着用してオンラインサイトに投稿できる「スタッフDX」ツールを導入し、顧客体験の向上によるEC売上の拡大や顧客のファン化を促進する取り組みに着手しました。これら様々な顧客接点の強化施策やCRM戦略の推進により顧客を中心とした360度タッチポイントの実現を目指しております。

守りのDXでは、業務効率の向上や的確かつ迅速な意思決定の支援機能に加え、DX推進によるビジネスモデルの変革を見据え付加価値の高い商品やサービスを継続的に創出するためのシステム基盤の構築を目的として、基幹システム刷新に向けた要件定義の作成を進めました。

海外事業については、海外小売事業部門の台湾子会社の台湾貞松股份有限公司（日本名：台湾貞松株）は、引き続きアジアマーケットの重要拠点として、フェスタリアグループの強みに立脚したビジネス展開を進め、収益性の向上を図りつつ、さらなるブランド力の強化を目指しました。

グループ生産工場の中核であるベトナム子会社D&Q JEWELLRY Co., Ltd（日本名：ディーアンドキュー ジュエリー）については、製造体制の強化による品質向上に努めるとともに、新素材商品の開発・製造に加え、3Dデジタルカスタマイズシステムの活用に伴うオーダーメイド受注商品の製造リードタイム短縮を図るなど、SPA企業としてSCM (Supply Chain Management) の最適化を進めました。さらに、生産合理化による製造コストの低減を進めるなかで、自社ブランドのみならずOEM生産等を検討し、営業機能を強化した結果、大手ジュエリーメーカーを含む数社からの製造受注が実現しました。

これらの取り組みにより、売上高につきましては、第1四半期連結会計期間においては、ブライダルジュエリーの落ち込みのほか、一部の店舗で店舗スタッフの欠員が発生した影響もあり、全体的に伸び悩んだものの、年明け以降は、店舗スタッフが概ね充足したことに加え、インバウンド需要や富裕層ビジネスの拡大もあり、高価格帯のファッションジュエリーが堅調に推移したため、前年同四半期に比べ315百万円（4.9%増）の増加となりました。特に第3四半期連結会計期間では、階層別教育の強化により店舗人員の戦力化が進みつつあること、さらに3Dデジタルカスタマイズシステムの活用によりブライダルジュエリーが回復傾向となったことから、前年同四半期比12.0%増と大幅な増収となりました。

売上総利益は、金価格が第3四半期連結累計期間平均で前年同期比24.0%増となるなど、原材料価格の高騰が売

上原価を圧迫したものの、機動的な価格戦略の推進により売上総利益率は同水準を確保したことから、前年同四半期比189百万円（4.7%増）増加しました。

費用面に関しては、人材の確保、定着に向けた対応を強化したことから人件費が大きく増加したことに加え、DX推進に伴う外注費やプロモーションコストの継続的な投下により、販売費及び一般管理費は前年同四半期比156百万円（4.0%増）増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高6,694百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益122百万円（前年同四半期比37.7%増）、経常利益108百万円（前年同四半期比87.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益68百万円（前年同四半期比117.5%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の資産の部は、前連結会計年度に比べて445百万円（6.6%）増加して、7,163百万円となりました。これは主に、売掛金が46百万円減少しているものの、現金及び預金が326百万円、商品及び製品が165百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債の部は、前連結会計年度に比べて390百万円（7.4%）増加して、5,700百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が57百万円、借入金が222百万円、未払金及び未払費用が55百万円、前受金が60百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産の部は、前連結会計年度に比べ54百万円（3.9%）増加して、1,463百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が8百万円、利益剰余金が44百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は19.9%となり、前連結会計年度末に比べ0.5ポイント減少いたしました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、2023年10月13日の「2023年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の業績予想を据え置くことといたしますが、今後の業績動向に応じて、業績予想に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	966,459	1,292,687
売掛金	774,681	728,347
商品及び製品	2,718,008	2,883,824
原材料及び貯蔵品	688,881	656,933
その他	104,910	160,033
貸倒引当金	△514	△543
流動資産合計	5,252,427	5,721,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,095,591	1,168,257
減価償却累計額	△750,394	△793,762
減損損失累計額	△107,023	△101,514
建物及び構築物 (純額)	238,172	272,980
機械装置及び運搬具	135,650	137,226
減価償却累計額	△122,950	△127,290
機械装置及び運搬具 (純額)	12,699	9,935
工具、器具及び備品	236,198	249,386
減価償却累計額	△199,954	△203,557
減損損失累計額	△2,362	△1,863
工具、器具及び備品 (純額)	33,881	43,965
土地	30,000	30,000
リース資産	438,318	431,508
減価償却累計額	△353,456	△364,741
減損損失累計額	△23,493	△23,493
リース資産 (純額)	61,368	43,273
有形固定資産合計	376,122	400,155
無形固定資産	143,243	132,394
投資その他の資産		
投資有価証券	89,263	90,444
繰延税金資産	325,521	302,857
差入保証金	399,172	385,392
その他	141,027	139,949
貸倒引当金	△8,477	△8,939
投資その他の資産合計	946,507	909,705
固定資産合計	1,465,873	1,442,255
資産合計	6,718,300	7,163,539

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	557,992	615,795
短期借入金	1,430,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	323,231	241,538
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金及び未払費用	451,768	507,714
未払法人税等	—	16,085
前受金	259,860	320,196
リース債務	26,818	17,275
賞与引当金	92,068	35,662
その他	43,246	70,419
流動負債合計	3,204,986	3,744,686
固定負債		
社債	70,000	50,000
長期借入金	1,609,951	1,444,027
リース債務	27,904	15,236
退職給付に係る負債	301,441	316,556
資産除去債務	9,165	9,182
その他	86,312	120,720
固定負債合計	2,104,776	1,955,723
負債合計	5,309,762	5,700,410
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	811,422	811,722
資本剰余金	618,731	619,381
利益剰余金	△136,404	△91,839
自己株式	△34,202	△30,384
株主資本合計	1,259,548	1,308,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,152	5,972
為替換算調整勘定	100,361	108,930
退職給付に係る調整累計額	5,335	1,333
その他の包括利益累計額合計	110,850	116,236
新株予約権	38,139	38,011
純資産合計	1,408,537	1,463,128
負債純資産合計	6,718,300	7,163,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	6,378,892	6,694,360
売上原価	2,334,777	2,460,291
売上総利益	4,044,114	4,234,068
販売費及び一般管理費	3,955,052	4,111,436
営業利益	89,062	122,631
営業外収益		
受取利息	656	2,470
為替差益	41,011	57,234
その他	417	740
営業外収益合計	42,085	60,444
営業外費用		
支払利息	59,102	63,826
社債利息	251	430
社債保証料	45	—
その他	14,017	10,818
営業外費用合計	73,416	75,076
経常利益	57,731	108,000
特別損失		
店舗閉鎖損失	1,856	—
固定資産除却損	1,605	310
特別損失合計	3,461	310
税金等調整前四半期純利益	54,270	107,689
法人税、住民税及び事業税	10,772	15,068
法人税等調整額	12,144	24,415
法人税等合計	22,916	39,484
四半期純利益	31,353	68,205
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,353	68,205



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	31,353	68,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,469	819
為替換算調整勘定	54,807	8,568
退職給付に係る調整額	1,387	△4,001
その他の包括利益合計	53,724	5,386
四半期包括利益	85,078	73,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,078	73,591
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。